

第4号様式-1-②(実態調査票1つづき)

行動の記録(各項目で該当するものに○をつける。ただし、移動の方法(⑦・⑧・⑨)の項目からは1つ選ぶ。)							
項目		評価					
身 辺 処 理	①食事	一人できる	何とか一人でできる	部分介助でできる	ほぼ全面介助	全面介助	
	②排泄	一人できる	部分介助でできる	サインはあるが全面介助	定期排泄可能で全面介助	サインなし全面介助	
	③着脱	一人できる	指示があれば何とかできる	部分介助でできる	ほぼ全面介助	全面介助	
	④洗面	一人できる	何とか一人でできる	部分介助でできる	ほぼ全面介助	全面介助	
	⑤歯磨き	一人できる	何とか一人でできる	部分介助でできる	ほぼ全面介助	全面介助	
	⑥手洗い	一人できる	何とか一人でできる	部分介助でできる	ほぼ全面介助	全面介助	
運 動 機 能	移 動 の 方 法	⑦歩行	走ることができる	自力歩行できる	自力で何とか歩くことができる	手すりにつかまり歩くことができる	歩行器を使って歩くことができる
		⑧杖	片杖歩行ができる	両杖歩行ができる	不安定だが両杖歩行ができる	杖と車いすの併用	不安定だが車いすと併用
		⑨車いす	(手動・電動)を一人で操作できる	(手動・電動)を平坦なら一人で操作できる	(手動・電動)を部分介助で操作できる	(手動・電動)をほぼ全面介助	(手動・電動)を全面介助
	バ ラ ン ス	⑩座位	座って自由に動ける	座ることができる	何とか座れる	支えがあれば座れる	座れない
		⑪立位	安定した立位ができる	立てる	何とか立てる	支えればできる	立てない
	⑫手の動き	⑫手の動き	手が自由に使える	日常生活が何とかできる	つかむことができる	物に手を伸ばすことができる	できない
⑬首の動き		⑬首の動き	首を自由に動かせる	首を左右に動かせる	首のすわりが安定	首のすわりが不安定	首がすわらない
社 会 性	⑭対人関係	⑭対人関係	通常の発達を示す	集団生活が何とかできる	いつも関わってくれる人がわかる	視線を合わせることができる	周囲の人に関心を示さない
	⑮意思伝達	⑮意思伝達	日常会話ができる	サインや言葉でできる	簡単なサインでできる	快・不快を表せる	快・不快を表すことができない
	⑯物事の認知	⑯物事の認知	通常の発達を示す	自発的に関わりある程度認知できる	いろいろな物事に何とか関心を示す	限られた物事には関心を示す	ほとんど関心を示さない

平成 年 月 日

記載責任者 _____ 印 本人との関係 (_____)